

## 令和2年度 白神山地世界遺産地域の管理に関する懇談会 概要報告

### 1 日 時

令和2年11月27日（金）18:00～20:10

### 2 場 所

能代山本広域交流センター

### 3 参加者

18人（秋田県内在住者12人、青森県内在住者5人、秋田・青森県内以外1人）

※欠席3人（秋田県内在住者1人、青森県内在住者2人）

### 4 概 要

参加申込の段階でいただいた質問等への回答を盛り込み、事務局より以下の項目を説明した。

- ・遺産地域の保全管理の概要
- ・生態系の保全について
- ・入山利用等の状況について
- ・白神山地の適正な利用について

その後、質疑応答を行った。参加者から出された主な意見、質問は以下のとおり（事前の質問等を含む）。

- ・平成9年3月に行われた「第2回白神山地世界遺産地域懇話会（秋田会場）」で、座長が提案した「核心地域の入山は遠慮」という案が全会一致で承認された。この線を守ってください。
- ・白神山地の価値を、より良い形で後世に引き継いでいくためには、狭いエリアである秋田県側核心地域には入山させるべきではない。一旦入山させると後には戻れず、青森県側のような入山出来るルートを設けるべきではない。
- ・白神山地には、核心地域と緩衝地域があり、核心地域が大事であるから周辺に緩衝地域が設けられたものと考えている。そうした元々の理念を堅持して行ってほしい。
- ・二ツ森登山道の階段のある区間は、滑って危険であり、早急に尾根側の固い場所に付替してほしい。

- 遺産地域の周辺部はほとんど利用されておらず、自然が楽しめる場をもっと作る必要。そのことにより、地元滞留する機会が増え、ガイドの活用にもつながる。
- モニタリングの分析・評価によるフィードバックを反映させることが大切。
- 秋田県において小学生を対象にした「白神体験塾」が実施されているが、これを中学生まで枠を広げてほしい。多くの子供たちが白神山地を体験することによって、後世に引き継いでいくことにつながる。